

休眠預金活用事業 ソーシャルビジネス形成支援事業

株式会社 GHIBLI/船団丸と取り組む 水産業の6次産業化による漁村地域の活性化推進事業 公募説明会



休眠預金活用事業・公募説明会次第

- 船団丸の本事業にかける思い
- 休眠預金活用事業とは
- 事業概要説明
- 公募概要説明
- 事業スケジュール
- 質疑応答

船団丸の本事業にかける想い

株式会社 GHIBLI 代表取締役 坪内 知佳

休眠預金活用事業とは

説明：JANPIA 中畑様

事業概要

株式会社 GHIBLI 休眠預金活用事業PO 高田 佳岳

～目指すゴール～

「我々の目指す姿」

～水産業(漁村・漁業)の復活を通じた地域活性化に向けた取り組み～

「未来の子供たちに青い海を残す」をミッションに、船団丸として6次産業化の推進、雇用創出、波及効果を持つ沿岸漁業者発の事業創出を目的とした事業を開始。船団丸は、地域課題を地域資源を活用した事業で解決していく成功事例を生み出しており、その実績と船団丸モデルを全国に展開することで、漁業者の所得を向上し、雇用を創出し、漁村と地域コミュニティを振興することで、地域社会における活力の低下その他の社会的な困難な状況に直面している漁村・漁業において、漁村のはたらく場づくりや地域活性化を目指す。





事業の背景と社会課題①

漁業者の減少と高齢化

漁業従事者数は26万人から13万人と半減。平均年齢は60歳と高齢化、後継者不足が深刻な問題。漁業の持続可能性が危機。

漁獲量・漁獲高の減少

漁獲量はピークの1282万トンから400万トンに。特に沿岸漁業において影響が顕著。海面漁業で生計を立てていくことが年々困難に。

水産資源の枯渇

資源管理の不徹底と乱獲により、水産資源が枯渇状態に。持続可能な漁業のための資源管理が急務。

気候変動の影響

海水温の上昇や異常気象が、漁業に大きな影響。台風や津波などの異常気象も漁村地域のインフラや生計に深刻なダメージ。

輸出競争力の低下

日本の水産物の競争力低下。価格競争力低下。輸出促進ため、ブランド化や付加価値の向上。

漁村地域の衰退

稼げない漁業で慢性的な経済的困難。インフラの老朽化。地域社会の崩壊を招き、漁業や地域の持続可能性に直接的な影響。若者の地域離れから地域経済の基盤を脆弱にしています。





事業の背景と社会課題②

「国・地方公共団体等による取り組み」

漁獲量を増やせるように、藻場造成、漁礁の設置などの漁場整備事業などの取り組みは始まっているが、急速な環境変化に有効な対抗策はまだ見つかっていない。6次産業化を推進しているが、商品開発から販路開拓、販売、収益化に至るまでのサポートをやりきれることが少なく水産業における成功事例は多くはない。

「申請団体による取り組み」

弊社ではこの15年間、水産業の6次産業化を中心とした船団丸事業として、漁師による主体的な6次化を推進指導し、販売し収益化するところまでコミットして取り組んでいる。現在、全国15地域で弊社とともに船団丸事業に取り組むことで、漁法の見直しから商品開発、情報発信などを行い、販売単価を向上することに成功し、収益をあげ、事業を拡大し、若者や女性の雇用も増やし、地域の活性化に寄与している。



船団丸の6次産業化モデル

漁師から最短ルートでお届けする。

獲れたての魚を船上で下処理、漁港から消費者へ自家出荷



所得向上
雇用の創出
地域活性化



全品送料無料
高鮮度な鮮魚
24時間注文可能
働き方改革

事業スキーム

事業目的

衰退する水産業を主たる産業としている漁村地域において、地域ごとの特性を活かした水産業の6次産業化の展開によって、地域の人による地域資源の利活用を促進し、地域経済を振興することで、地域における若者や女性の雇用創出、漁村のコミュニティの活性化、地域の魅力増進による関係人口および移住者の増加につなげ、持続可能な地域とコミュニティの維持、住み続けたい地域づくりを実現する。

実行団体

それぞれの地域の資源を活用し、収益化を前提とした6次産業化を推進し、持続可能な水産業モデルを創っていく。地域資源の商品化を通して新しい雇用を創出し、商品を地域ブランド化して魅力を発信することで地域内外にファンを増やしていく。魅力化とファン化を推進することで、販路開拓にも繋げ、収益をあげつつ、地域の若者や女性、子供たちにも水産業への興味を持ってもらい、水産業における人材育成の仕組みづくりを行ない、持続可能な水産業と地域コミュニティの活性化を担う。

資金分配団体

6次産業化とその事業収益化に向けたサポートや持続可能な事業推進のための雇用や経営相談などのフォロー、情報発信などを個別具体的に行っていく。地域における6次産業化に適した資源の発見と、その磨き込み、商品開発、ブランディング、販路開拓、販売、情報発信に至るまでしっかりと伴走サポートを行い、実行団体の事業の成功と地域の活性化を実現する。



ロジックモデル

【現状】

このままでは、衰退する水産業と消滅可能性の高い漁村

【インプット】

漁法の見直しから商品開発、情報発信などを行い、販売単価を向上させる船団丸モデル（6次産業化）の導入

【アウトプット】

ブランド化された魅力ある商品を発信することで地域内外にファンを増やし、販路開拓にも繋げ、収益があげられる漁業化

【アウトカム】

継続的に水産業を営め、地域に雇用が生まれ水産業が自立し、持続可能な状態になり、雇用が増え、関連事業体への就労も増えることで、漁村における人々の暮らしが豊かになり、地域と地域コミュニティが活性化され、笑顔あふれる地域となっている。

GHIBLI が休眠預金活用事業で達成したいこと。

水産業の六次産業化によって、

- ・ 地域に「地域ブランド」となりうる名物を作る。
- ・ 雇用を確保し、しっかりと商品を作り、販売する体制を整える。
- ・ 対外的に「〇〇〇船団丸」の商品として共同で販売する。
- ・しっかりと儲けて、雇用も継続し、事業終了後も持続可能な仕組みを確立する。

この事業を通して、

- ・ 地域経済が周ること、雇用が安定し、コミュニティが活性化される。
- ・ 商品を通して、地域の認知が上がり、関係人口増加に繋がる。
- ・ 地域全体が明るく元気になる。

このゴールを達成するために、船団丸が3年間全力でサポートします。

公募概要

休眠預金活用事業
株式会社 GHIBLI
公式ホームページ



- ❖ 採択予定実行団体数：4 団体
- ❖ 事業期間：3 力年（契約時～2028年2月末）
- ❖ 申請資格
 - 水産関連事業を営んでいること（代理での申請不可）
 - 規定に則った事務経理管理ができること
 - 詳細な情報公開が必要となるので、ご了承いただけること
 - 船団丸の想いに共感し、
 - 説明会と事前相談の参加
- ❖ 1 団体あたりの助成額（上限及び目安）
3,500万円（＋自己負担額 20% / 売上などで充当可能）
 - ハード整備 3000万円まで
 - 事業評価関連費として175万円は**必ず**見込んでおいてください

資金分配団体



実行団体

事業費：3,500万円の使途

休眠預金事業
事業期間：3年
事業費：3,500万円



<活用例>

ハード（3000万円まで）

加工場の刷新

- ・ HACCP対応など衛生面の強化
- ・ 最新の冷凍、加工機器の導入など

商品開発

- ・ 地域ブランドとなりうる商品作り
- ・ 船団丸と共同開発

商品販売

- ・ チャネルの整理
- ・ 船団丸ECなども活用して販路拡大

休眠預金活用事業
株式会社 GHIBLI
公式ホームページ



ソフト（500万円まで）

一般事務関連費
広告宣伝費
研究開発費

事業評価関連費(全体の5%)

スケジュール

